同友しずおか

2021
12
VOL.517

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった！」

私の逸品

データマイン㈱

地域密着・安定した
サービスの提供を実現する
新社屋

静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。

中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会３つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

●社長はいつも**孤独**
●経営の**悩みを相談**する仲間ができた
●経営の**成功体験しか聞けない**
●**失敗談から勇気とヒント**をもらえた
●目の前の**仕事に追われる**毎日
●将来の**会社のビジョン**ができた
●**指示待ち社員**ばかり
●**自発的な社員が増えた**

その答え、同友会にありました。

会員募集中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/**054-253-6130**
〒420-0857 静岡県静岡市葵区伝馬町8 静岡三菱ビル6F FAX/054-255-7620 E-mail/doyu@szdoyu.gr.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の矜持（きょうじ）と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

2025年ビジョンの実践【第６回】

ビジョンの実践で幸せを実感する支部づくり

「2025年ビジョンの実践」では、ビジョンプロジェクトメンバーが静岡同友会2025年ビジョンを自社の未来と重ね合わせ、いかに実践していくかをコラム形式で毎月掲載していきます。

長引くコロナ禍の終息が未だ見えない中、私たちはこれからも困難を乗り越え未来に向けて挑戦し続けていく使命があります。その為には、達成すべき姿を明確に示すビジョンが必要となります。私は、2025年ビジョンプロジェクトに参加し、「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」のテーマに沿ってその本質を学び、ビジョンの共有と理解を深めてきました。同友会づくりでは、「会員増強は経営者にできる最大の地域貢献」を知り「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」のそれぞれのテーマは、互いに結びつき、ひとつも企業経営には欠かせないテーマだという気づきがありました。そして、同友会づくりの原点は、支部づくりにあります。

ビジョンを支部方針に落とし込むには支部の抱えている課題を会員で議論する必要があります。議論の場として「2021年の富士支部の活動を皆で語り合おう」をテーマに同友会2025年ビジョンを学ぶ例会をはじめ、各グループ会で時間をかけて行ってきました。このような活動を経てできた支部方針は「『温故知新』の姿勢で共に学び共に育ち、経営者としての成長と幸せを実感しよう」です。同友会の歴史を紡いできたベテラン会員の知識・知見と若手会員の新たな発想を共に謙虚に学び合い、お互いの価値観を認め合い、本気本音で語り合える仲間づくりを実践していきます。

加藤 登久氏（㈱ファクトシステム・富士支部）

私の逸品

地域密着・安定したサービスの提供を実現する新社屋

データマイン㈱（浜松支部）

代表取締役　江間　省豪氏

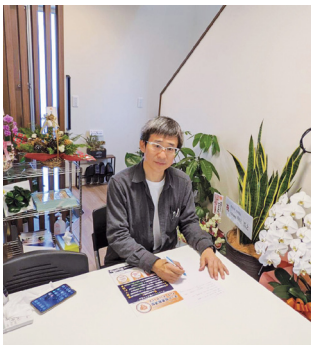
江間　省豪氏

今回、浜松支部で活躍している、リーダー的存在の頼れる兄貴でもあるデータマイン㈱の江間省豪氏に新社屋完成を機にお話をお伺いさせて頂きました。『E笑顔・M前向き・Aありがとうの江間と覚えて下さい』がキャッチコピーのように、常に元気に！凹まず！感謝の気持ち！で前向きな姿勢が印象的です。

40歳を機に経営者として挑戦

東京電機大学の電気通信工学科卒業後、地元の企業に就職し、当時は経営者になるということは全く考えもありませんでした。しかし、ふと40歳を前に、得意のパソコンを使い、お客様の業務効率の追求で、自身の能力が当時勤務先の社内だけで無く、世間でどこまで通用するのか挑戦したい思いから、周囲の猛反対を押し切って起業しました。

起業当初はデータベースを用いたプログラミングを主な業務としていましたが、病気・資金管理・スタッフの問題などがあり11年が過ぎ、現在は起業当初からのＰＣメンテナンス事業と光回線事業を行っています。特に光回線は「データマインひかり」というＮＴＴのコラボ事業者として総務省管轄の東海情報通信局の許認可を得て通信回線事業をしています。事業展開はお客様一人一人を大切にする思いから、電話による勧誘は一切行わず、静岡県地元地域の個人及び企業に自社の強みであるＰＣメンテナンスと併せて提供することで契約件数を増やす方針です。現在はようやく１００件の契約が見えてきましたが、当面は３００件の契約を目指して、安定したサービスを提供できるように努めていきます。今や通信は電気・水道・ガス以上に必要とされる時代になっているのと同時に、会社としても必要とされる企業になるとの決意で日々励んでいます。



取材風景

同友会への入会が経営の学びに

同友会との関わりは２０１６年に別の会で仲良くしていた先輩事業者に声を掛けて自ら入会したのがきっかけでした。入ってみたものの、当時多くの会員企業が退会する中で、せっかく払った会費がもったいなかったのでそのまま参加を続けることにしました。

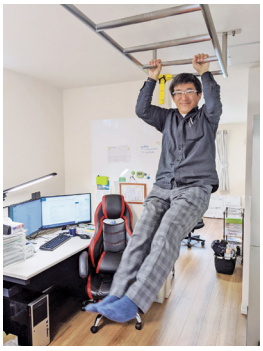
続けていると他団体との違いを感じるようになりました。別の経営者の集う会では、決められたことがトップダウンで、議事内容を忠実にこなす会で、元サラリーマンだった自分には居心地の良い会でした。しかし同友会は違いました。講話が終わるやいなや、その内容についてディスカッションするインプットの後のアウトプット。この流れが非常に新鮮だったと言います。講話者の話をバズテーマに関連付けながら自分の意見を述べることで、同じグループの人達と異業種交流が出来る事は、今までにない充実した組織運営の会でした。

県の経営指針を創る会への参加が新規事業展開の転機に

また当時浜松支部は45周年式典が行われ、このような歴史ある会には必ず魅力があるはずだ、もっと同友会の本質を知りたいと言う想いから、徐々に会にのめり込んでいきました。中でも経営指針を創る会に参加する事で「データマインひかり」を事業の中心にするという決意が固まりました。現在は浜松支部を背負って立ってくれた長野支部長に恥をかかせないために、組織増強のお手伝いをさせていただき、会う人会う人に同友会の魅力を伝え、例会に足を運んでもらう努力をしています。

地域に根差す企業を目指して新社屋を建設

江間氏は通信インフラを提供している事業会社として、お客様から信頼され、安心して加入していただけるようにと、新社屋を令和３年11月１日に完成させました。浜松西インターを降りたら南に向かって国道１号線を目指し旧東海道の交差点を左に見ると建っています。安定的なサービスの提供を通して地域から必要とされるデータマイン㈱であり続けたいと話してくれました。



新社屋にある運動スペース

取材・記事：伊藤　正浩氏
㈲浜松プロード・マインドオフィス・浜松支部

データマイン㈱

〒431-0202　浜松市西区坪井町596-1
TEL：053-424-5070
URL：https://www.datamining.co.jp
創立　2010年９月（江間企画）
2018年５月（データマイン株式会社）
社員数　１名
入会年月　2016年6月
事業内容　情報サービス業（光回線、パソコンメンテナンス、パソコン販売、オーダーメイドのデータベース作成）

第35回全県経営フォーラム 過去最高の四一八名が参加！

時代激変の今、地域社会における自社の存在意義を学ぶ

十一月十九日(金)、第三十五回全県経営フォーラムをオンライン(報告者は会場より発信)で開催し、過去最高の四一八名が参加しました。「時代激変の今こそ、自らの変革のチャンス!~すべては自分の意志が決める~」をメインテーマに、全体会、記念講演、全8分科会で学びを深めました。

はじめに、宇佐美健介実行委員長から「県下会員50%以上の参加目標を今日まで掲げてきました。全支部から組織した実行委員会、役員、会員の力を結集し、過去最高の参加登録を実現することができました。本フォーラムを自らの変革のチャンスにしていきましょう」と伝えました。続いて井上斉代表理事から「経営者はいかに環境が厳しくとも時代の変化に対応し、経営を維持し発展させる責任があります。自らが変革の種を掴み、学んだことを実践し、地域を元気にし、中小企業家としての資質を更に磨きましょう」と挨拶しました。その後、ご臨席いただいた来賓の静岡県経済産業部商工業局長・杉山俊博様、東海財務局静岡財務事務所長・白瀧智彦様、静岡労働局長・石丸哲治様、静岡大学学長・日詰一幸様よりご祝辞をいただきました。

ご来賓の皆様（壇上左側）

記念講演は「私たちの存在意義。佐渡が酒を醸し、酒が佐渡を語る」をテーマに、尾畑酒造㈱専務取締役・尾畑留美子氏が新潟・佐渡島よりオンラインで講演。酒造りの三大要素「米・水・人」に、生産地「佐渡」を加え、「四宝和醸（四つの宝を和して醸す）」をモットーに掲げる同社。二〇一四年に廃校となった学校を改装した「学校蔵」では、佐渡産に拘った原材料を使った酒造りに加え、年代や居住地、また職業などの枠を超えて学び合う学校蔵の特別授業や多くの外国人も参加する酒造り体験などを行っています。学校蔵を中心に佐渡と世界、そして世代を繋ぐ酒造りを通じた循環型社会の実現への想いをお話しいただきました。その後は8つの分科会で経営実践報告とグループ討論を行いました。

佐渡島から尾畑氏がZOOMで講演

実行委員長あいさつ

第一分科会は事業承継をテーマに、関那積氏(㈱中部特機設備／静岡支部)が報告。同社は父である先代が1970年に創業。家庭用・業務用エアコン、エコキュート、冷凍冷蔵庫、空気清浄機など「空気」に関わる商品を扱う空調設備事業を行っており、現地調査から施工・メンテナンスまで一貫して手掛けます。「お客様のためになる仕事をしなさい」という先代の思いの継承、直面した課題、継承した側だからこそ見えた先代との対話の重要性、新部門の設立や脱炭素社会への対応など未来への取組みを報告しました。

第1分科会　報告風景

第二分科会は事業再構築をテーマに宮崎哲也氏(有)宮崎蒲団店／富士宮支部)が報告。寝具店と富士山頂の山小屋を経営する宮崎蒲団店。新型コロナの影響で史上初の山小屋の営業が中止。経営危機を感じる中、今しかないと県の経営指針を創る会に参加しました。自社を見つめ直す中で再認識した寝具へのこだわりがメーカーを目指すビジョンに繋がりました。小売りからの脱却とアフターメンテナンス体制の確立を目指し、事業再構築補助金にも挑戦。10年ビジョンに基づく事業展開を報告しました。

第2分科会　報告風景

第三分科会は理念経営をテーマに大関泉氏(㈱ジー・ディー・エス／浜松支部)が報告。飲食業を経営する大関氏。2019年4月に親族ではない2代目として事業承継し「GDS100年企業ビジョン」を掲げました。しかし、直後にコロナ禍へ。大関氏は経営逼迫を経験し、改めて経営者としての原点を見つめ「社員の人間力こそが企業力」と社員教育の環境整備に全力投球することを決意しました。従業員満足の向上を目指した仕組みづくり、事業承継後に直面した課題、第二創業期としての企業づくりを報告しました。

第3分科会 設営メンバー

第四分科会は挑戦と実践をテーマに山田尚子氏(㈱サンロフト・／志太支部)が報告。「テクノロジーを親しみやすく」「明るく夢のある情報化社会の実現」を経営理念に掲げている同社。事業は大きく地域密着型事業の「DX事業」「モバイルセキュリティ事業」、全国展開の「パステル事業」「クラウド事業」の4つに分かれています。

第4分科会設営メンバー

当日は、社員の方と実行委員が連携し本社、サテライトオフィスから中継、参加者にリアルタイムで会社の様子を伝えました。最後には代表取締役社長松田敏孝氏にもご登壇いただき、サンロフトの目指す人づくり、会社の未来をお話しいただきました。

第５分科会　ディスカッション風景

第五分科会も第四分科会と同じく、挑戦と実践をテーマにパネルディスカッション形式で報告。佐藤浩由氏㈱三十飛／沼津支部・パネリスト）、勝俣智史氏㈱フィットコーポレーション／御殿場支部・パネリスト）、上野祥行氏㈱エスティーエス／沼津支部・コーディネーター）の３名が登壇。コロナ禍で大きな影響を受けた飲食業界。勝俣氏、佐藤氏の会社も厳しい状況に直面しました。しかし、環境の変化をネガティブに捉えず、さらによい会社にしていく契機として捉え、事業戦略の見直し、社内体制の見直しと企業づくりに挑戦してきました。コロナ禍における経営実践と今後に向けたビジョンを語り合いました。

第６分科会　設営メンバー

第六分科会は持続可能な地域の実現をテーマにパネルディスカッション形式で報告。齋藤寧氏㈱齋藤組／静岡支部・パネリスト）、荒木慎吾氏スマートブルー㈱／静岡支部・パネリスト）、八木邦明氏（一社）シツクリ／パネリスト）、青山達弘氏㈱青山建材工業／静岡支部・コーディネーター）の４名が登壇。１０年後の自社や業界、地域の在り方を見据え、未来を背負う小中学生に仕事の魅力を伝えるために立ち上げた静岡支部地域交流委員会。現在までに地域の小中学校３０校のキャリア教育授業に関わり、種をまいてきました。中小企業経営者、学校教育者それぞれの立場からキャリア教育に関わる意義を語り合いました。

第８分科会　報告風景

第七分科会は中小企業の可能性をテーマに山本義彦氏（静岡大学名誉教授・静岡同友会顧問）が登壇。県内で制定が進む中小企業振興基本条例。同友会では条例制定に関わる運動を続けてきました。条例には地域を構成する国民、企業、行政、金融、関係団体の役割が記されています。なぜ中小企業経営者が条例に関わることが必要なのか、そもそも条例とはどういった役割があるのか、沼津市の条例制定と振興会議に関わってきた経験とあわせてご報告頂きました。

第７分科会　設営メンバー

第八分科会は小さくとも地域で輝く企業への挑戦をテーマに三浦大輔氏㈲三浦水産／伊東支部）が報告。別業界への就職を経て家業を継いだ三浦氏。家業に戻った当初は会社を継ぐ意思はありませんでした。日々が過ぎていく中で社員の入れ替わりも多くなり、自身が会社を引っ張っていかなければと思うも社員への接し方が分かりませんでした。そんな中で、同友会に出会い入会。経営指針書を作成し、経営者としての考え方が大きく変わりました。同友会で変わったという三浦氏が経営に対する苦悩や実践、そして三浦氏にとっての「同友会づくり」を報告しました。

全体会、記念講演、分科会を通して、激変する経営環境を乗り越える経営者としての在り方、地域社会における自社の存在意義を深く学びあうフォーラムとなりました。

《全県経営フォーラムを終えて》

皆さん、同友会は好きですか?私は、今回の全県フォーラム実行委員長を務めさせていただくことで、より一層同友会が好きになりました。静岡同友会には、本当に素晴らしい方が沢山います。事前の参加登録者数５４６名という結果は、８分科会設営を実現したグループ長や、参加者声掛けにご尽力いただいた各支部長のおかげでした。また、ＰＲ動画作成やサプライズ演出、実行委員会と本番の司会までも務められた山崎さん。己の能力に落胆している私に、「量は質を凌駕する」という言葉で支えてくださった松葉さん。本当にありがとうございました。正副代表理事、実行委員と事務局一丸体制は、まさに同友会の３つの目的達成の姿でした。多くの学びと感謝に、改めて同友会の発展に尽くしていく決意を抱きました。時代激変の今、本フォーラムでの学びを自社で実践し、己の意志で変革のチャンスを掴み、共に成長を果たしましょう!報告集も今後配信予定です。残念ながら参加が叶わなかった方もぜひご一読いただき、自社の発展に繋げていきましょう。皆様、改めて、本当にありがとうございました!

宇佐美　健介氏
㈱エージェントうさみ・県副代表理事）

設営拠点からZOOMで発信した今年の全県経営フォーラム（開催後、レイアップ御幸町ビル会議室にて撮影）

第2講　中小・小規模企業の役割
～地域経済の担い手として～

10月13日（水）

講師：遠藤 正人氏
㈱富士トレーディング・富士支部）

富士市で企業間連携のサポートや産学連携コーディネート、新商品の開発などを行う㈱富士トレーディング。遠藤氏はサラリーマン時代の経験から気づいた自身の強みを生かし、「コラボレーション」を生み出すコーディネーター」として同社を創業、多くの新商品開発に携わってきました。また、「自社の繁栄は地域の繁栄と不離一体」と捉え、地域とも積極的に関わっています。特に２００７年に県内で初めて制定された「富士市中小企業小規模企業振興基本条例」が改正された際には、より地域の中小企業経営者の実態に即した条例となるよう働きかけました。また現在は、富士市の田子の浦港ににぎわいを創出するプロジェクトを推進しています。最後に学生に向けて「やらずに後悔するより、やって後悔したほうがよい。ネガティブになりそうなときは成功するイメージを思い浮かべて」と自身の経験に基づいたメッセージを送りました。

遠藤 正人氏

第3講　中小企業経営と税理士の役割

10月20日（水）

講師：鈴木 弘之氏
（税理士法人あい会計・中遠支部）

磐田市で税理士法人の代表を務める鈴木氏。税理士と公認会計士の違いや税理士の役割、日常業務に加え、中小企業が抱える課題を学生に伝えました。

鈴木氏は減少が続く中小企業の現状について、経営不振や人手不足、経営者の高齢化などの要素が大きな原因となっていることをデータに基づいて解説。国内の雇用や地域経済を支える中小企業の存在意義を守るためにも、専門知識で税理に関する独占業務を扱う税理士の顧客への責任が大きいといいます。また税理士の役割は経営への助言や財務諸表の信頼性向上、事業承継支援と多岐にわたると話しました。「中小企業経営者の頼れる存在として、力になれることは多い」と想いを熱くする鈴木氏。学生からは「中小企業の課題や税理士に期待されている役割を知ることができた」などの感想があり、税理士のやりがいと中小企業の実態を伝える講義となりました。

鈴木 弘之氏

第4講　自社のこと
～人を生かす経営を目指して～

10月27日（水）

講師：池原 智彦氏
㈲池原商会・志太支部）

島田市で廃棄物処理業を営む㈲池原商会。一般・産業廃棄物処理をはじめリサイクルや遺品整理を行っています。高校時代にものづくりに興味を持った池原氏は建設機械を修理する会社へ就職。その後、父が経営する会社へ入社しました。社員は10名、うち3名の障がい者を雇用しています。きっかけは学生時代にはじめた手話教室でした。「障がい者を取り巻く環境を解決することが全ての人が暮らしやすい社会になる」と池原氏。昨年からは社内の組織体制変更に着手しました。若手社員に役を任せることで社員の責任感も増し、社内がより良い雰囲気に変わってきました。そんな社員の姿を見た池原氏は、人を大切にする経営への思いが更に強くなったと言います。最後に「様々なことに関心を持ち、チャレンジと経験を積み重ねてください」と学生に伝えました。

池原 智彦氏

第5講　一隅を照らしながら、グローバル・ニッチ・トップを目指して

11月10日（水）

講師：梶川 久美子氏
（サツマ電機㈱・沼津支部）

沼津市で産業用ブレーキの専門工場として設計開発・製造・販売をおこなうサツマ電機㈱。「高品質」な「安全」を提供することを使命とし、長く安全に使える製品を設計開発から製作、販売まで一貫して行っています。また、顧客の技術継承が課題となっていることを受け、正しいブレーキの調整方法を身に着けてもらうためのブレーキ講習会を実施するなど、日本のモノづくりを下支えしています。「経営者の仕事は社員がいきいきと育つ土壌づくり」と語る梶川氏、組織を循環させるために対話を大事にしているといいます。「思いやる心や優しさ『徳性』を養い、人間的に成長してほしい」と自身が大切にしている考え方であり社員に対する想いを伝え、最後に「世の中の役に立つため、大きな志をもって勉強してほしい」と学生にメッセージを送りました。

梶川 久美子氏

第6講

時代と共に変化し続ける！お茶屋はやすらぎ提供業

11月17日（水）

講師：齊藤　大介氏
（㈱斉藤園・御殿場支部）

御殿場市で静岡県産深蒸し茶の販売店を営む㈱斉藤園。大学卒業後はOA機器商社の営業として4年間勤務したのち家業に入ります。代表になって「変えなかった部分」と「変えた部分」を説明。引き継いだものは㈱斉藤園ならではのお茶の「味」とお客様との関わり、変えた部分は情報の電子化・効率化やオンラインショップの立ち上げ、デザイン・ブランド力の強化だといいます。また、茶葉の消費が減少する中で市場の変化を捉え「病気になりにくい健康な体をつくる」ことを切り口にお茶の良さをPRをしたいと自ら「ダイエット検定」を取得、SNS等での情報発信を行っています。今後はお茶教室・ダイエット教室などを通して楽しく、面白く「健康的な生活の提案」をしていきたいと話します。最後に学生に「様々な形の社会貢献があり、それが仕事になる。楽しんで目的をもって仕事をしてほしい」とメッセージを送りました。

齊藤　大介氏

第7講

私たちは、何と戦い、何を守っているか？

11月24日（水）

講師：渡邉　昌和氏
（㈱中里メッキ・富士宮支部）

富士宮市でメッキ加工業を営む㈱中里メッキ。代表取締役の渡邉昌和氏より会社の生い立ちから現在までを語りました。戦後復興とともに創業した祖父の、「家族を養うため一日一日を精一杯生きた」姿は渡邉氏に影響を与え、同氏が作成した経営理念の言葉にも反映されています。会社員時代には尊敬する上司から、部下への接し方を学んだ渡邉氏。「相手の話を真剣に聞くことが大切」と話しました。専務取締役として家業に入り、感じたのは「若い社員に色々な経験を積んでもらい長く働いてほしい」ということ。そして、今まで経験による感覚で行っていた作業について数値化し、社員が働きやすい環境づくりに取り組みました。また、メッキ加工で最高難度である内面メッキを受注。失敗した時のリスクも大きく、安定供給までは苦労の連続だったものの、現在は会社の技術向上や自信に繋がったと語りました。

渡邉　昌和氏

若手社員フォローアップ研修を開催

会員企業12社から社員20名が受講

10月27日（水）、静岡市の男女共同参画センターあざれあにて、県共育委員会主催の「若手社員フォローアップ研修」を開催し、会員企業より12社20名が受講しました。須山由佳子氏（㈲キャリア・アップ・浜松支部）による研修では、午前の部で半年間を振り返るワークを実施しました。会社内での人間関係や仕事で上手くいかなかったこと、また克服したことや仕事での成功体験を一人一人が発表、その後「仲間の考え方や行動で参考になったこと」をテーマにグループ討論を行いました。午後の部は信頼される社員になるための質の高い「報連相」について、具体的なポイントをふまえながら説明。受講生からは「結論から報告して報告力を高めたい」「これからは進捗報告を心がけたい」などの感想がよせられ、社員としてさらなるステップアップに繋がる研修となりました。

共育委員会では来年4月4日（月）に静岡県教育会館にて「合同入社式」を開催予定です。ぜひご参加ください！

11月イントロセミナー

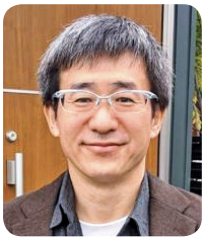
経営指針作成で見えた自社の未来

～なぜ私が同友会に仲間を誘うのか～

11月26日（金）　同友会事務局＆ZOOM

オブザーバーや新会員、また変革に挑む仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。11月は浜松市でパソコンメンテナンス、光回線事業を営む江間省豪氏（データマイン㈱・浜松支部）が報告しました。当日は江間氏紹介のオブザーバーが参加しました。

同氏は大学卒業後、地元の大手通信会社に就職。40歳を前にお客様の業務効率化へのお役立ち、そして世間で自身の力がどこまで通用するのか挑戦したい思いから2010年に起業し、2016年に同友会に入会。同友会の魅力を同氏は「例会での経営実践報告とその後すぐに行われるグループ討論、なによりこの流れが楽しく、学びがある」と言います。県経営指針を創る会にも参加し、新規事業として光回線販売「データマインひかり」を事業の中心にする決意を固めました。現在は浜松支部副支部長として組織増強に力を入れる同氏。知り合いの経営者に同友会の魅力を伝え、支部長や役員の仲間とより活発な支部づくりをしていきたいと話しました。次回12月22日（水）のイントロセミナーでは海野敦氏（海野サッシ商会・県組織増強委員長／静岡支部）が報告します。ぜひ、オブザーバーと一緒にご参加ください！



江間　省豪氏

同友しずおか
静岡県中小企業家同友会
コミュニケーションマガジン
2021年12月10日号　通巻517号　定価200円

12月・1月 2022年 DOYU CALENDAR

12月16日㈭～2022年1月15日㈯

12月 16日(木)	中遠例会（19：00　iプラザ＆ZOOM） 浜松例会（19：00　緑の谷のごちそうテラス Cocochi） 富士例会（19：00　ロゼシアター＆ZOOM）
17日(金)	県総務財務委員会（16:00　同友会事務局&ZOOM） 県共同求人委員会（19:00　藤枝市内&ZOOM）
18日(土)	県障がい者問題委員会クリスマスバザー「いのちぽかぽか街かどクリスマス」（10：00　青葉公園シンボルロード）
21日(火)	県例会企画委員会（18：30　ZOOM） 全県フォーラム実行委員会（18：00　ZOOM）
22日(水)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」（19：00　同友会事務局＆ZOOM）
23日(木)	県理事会（15：00　同友会事務局＆ZOOM）

1月 6日(木)	県正副代表理事会（15：00　同友会事務局＆ZOOM）
10日(月)	榛南経済人賀詞交歓会（16：00　い～ら）
11日(火)	静岡例会（19：00　ホテルグランヒルズ静岡）
13日(木)	御殿場例会（御殿場市経済交流交歓会）（17：00　御殿場高原ホテル）
14日(金)	富士宮例会（19：00　志ほ川バイパス店＆ZOOM）

《 あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください 》

☆事務局冬期休暇について
12/29（水）～ 1/4（火）

新会員のご紹介（敬称略）　会員数 1055 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
勝又（かつまた）　奨太（しょうた）	行政書士勝又奨太事務所 専門サービス業（許認可申請書類作成・代行申請、企業法務、事実証明に関する書類の作成など）	富士宮	宇佐美健介

名義変更による新名義人（敬称略）

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
小野寺敦嗣（おのでらあつし）	富士設計㈱ 建設コンサルタント（建設コンサルタント業、測量業、補償コンサルタント業）	富士宮	上杉　和博

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

新会員さんこんにちは！

志太支部 新入会員　土地家屋調査士　増田貴行事務所を訪問

今月は増田貴行氏（土地家屋調査士　増田貴行事務所・志太支部）をご紹介します。増田氏は建設業界で働いた後、培った経験を生かし独立しようと2010年に藤枝市瀬戸新屋に事務所を構えました。「迅速丁寧」を大切に経営しています。同友会へは寺島雅之氏（㈱藤枝パークインホテル）の紹介で入会しました。他団体では政策提言作成にも関わっていた増田氏。「事業を通して人材育成、地域貢献に関わっていきたい」と話してくれました。

訪問：吉田 和弘氏（吉田道明税理士事務所・志太支部）
　　寺島 雅之氏（㈱藤枝パークインホテル・志太支部）

右から増田氏、吉田氏、寺島氏

11月は1名入会、会員数は1055名となりました。皆様ぜひ同友会にお知り合いの経営者・後継者の方をご紹介ください！

発行所：静岡県中小企業家同友会　doyu@szdoyu.gr.jp　/　編集者：県広報情報化委員会
〒420-0857 静岡市葵区御幸町8 静岡三菱ビル6階　TEL：054-253-6130（代表）　FAX：054-255-7620　http://www.szdoyu.gr.jp